

## CTED NewsLetter

Center for Teacher Education and Development, Okayama University

学生  
向けスクールで  
未来を変える  
ボランティア

新年明けまして、おめでとうございます。  
新しい1年が始まりました。今年の目標は決まりましたでしょうか。まだ決まっていない学生さん、今年はボランティア活動に出かけてみてはいかがでしょうか。

実は今教員として採用される前に学校現場での体験的な学びが大変重要視されています。教育実習やインターンシップといった授業ではできない体験が、実はボランティア活

動ではできません。授業では大学と協力関係にある学校に複数の学生が行きますが、ボランティアでは、本当に人材不足に悩む学校に1人で行くことが多々あります。学校現場が直面する課題を実感できるのはボランティア活動です。採用前に様々な経験をしておくことで、教員としての実践力が身に付けられます。

さて、こうした学生の学校園での教育ボランティア活動をサポートする組織が教師教育開発センターにはあります。それが「スクールボランティアビューロー」です。これまで春の説明会やボランティア登録の手続き、また岡大教職ナビや学内の掲示板でのボランティア情報の発信等を行ってきました。おそらくボランティア活動をしたいと思われた学生のみならず一度はお聞きになったことがあるのではないかと思います。今年は学校園でのボランティア活動に取り組んでみたいという学生さんは是非ビューロー（場所：教育学部本館2階201室）まで訪ねてきてください。

また、スクールボランティアビューローはボランティア活動に取り組んでいる学生さんの支援も行っています。活動中に感じた不安や悩み事があれば、ゼミの先生に相談するのもいいですが、ビューローでも相談を受け付けています。どんな些細なことでも話していただければ、気さくなベテランの教員陣がお悩みの解決の糸口を教えてください。

そして、2014年度からこのスクールボランティアビューローに新しい制度が設けられました。それが「学生スタッフ制度」です。学生の立場から、スクールボランティア活動に学生が取り組みやすい環境の整備や関連した企画・企画・連携を通して、学校支援ボランティアについての深い理解と熱意によって、第一線でスクールボランティア活動を支援することができる人材の育成を目指しています。少し堅苦しい表現ですが、分かりやすくいうと、「ボランティア経験をしっかり積んでもらい、その経験値を他のボランティア活動をしたい学生さんのサポートに活かして



もらう」ということです。

学生スタッフは様々な学部・研究科・学年の学生で構成されています。「自分たちでボランティア活動を盛り上げる」という強い気持ちで活動しています。昨年4月5日に「スクールボランティアフェア2014」を開催しました。学生の目線に立った企画が多数あり、参加した学生や教育委員会・学校現場の先生方も大変満足されていました。イベントの企画・実施だけではなく、自らボランティア活動に率先して参加し、興味のある他の学生にも声をかけながら、ひとりでも多くの学生にボランティア活動の機会を提供しようと奮闘しています。本紙でも紹介している「早島ボランティアツアー」も学生スタッフが教育委員会と連携して実現した企画です。

この春休みから4月にかけても、様々なスクールボランティア関係のイベントが行われます。

2月28日（土）教育学部講義棟

岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」

3月22日（日）教育学部講義棟

「教師への道」インターンシップ事業シンポジウム

4月29日（水・祝）創立五十周年記念館

スクールボランティアフェア2015

詳細は教師教育開発センターのホームページや岡大教職ナビでお知らせしますので、興味のある方はチェックしてみてください。

さあ、スクールボランティアを始めようと思ったあなた。その気持ちを大切にしてください。「思い立ったが吉日」すぐに行動してみよう！

【文責：佐藤大介】

TOPICS  
今号の主な記事

- 【特集】スクールボランティア
- 【報告】教師力養成講座第5回 実施
- 【報告】教師力養成講座（CST共同企画）実施
- 【報告】「早島ボランティアツアー」実施
- 【報告】「母校訪問事後指導」実施
- 【報告】「合同連携協力会議」の開催
- 【連載】《教員リレーエッセイ》  
教職コラボレーション部門 江木英二教授（特任）  
教師教育開発部門 後藤大輔 助教
- 【連載】教員採用試験のツボ その十一「小論文の練習とDVDの視聴」
- 【連載】教員採用試験受験記：小山愛未さん（教育学部）
- 【掲示板】岡山市学校支援ボランティアシンポジウム
- 【掲示板】岡山県「教師への道」インターンシップシンポジウム
- 【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報

# 学生向けにさまざまな企画を実施！

## 今後の企画など、教職ナビをチェックしよう

学生  
向け

### 第5回教師力養成講座 「ICTを活用した授業づくり」 ～わかる授業の創造～



第5回目の講座では、情報教育をテーマとし、中でも学校現場に導入されている情報機器等（ICT）に焦点を当てました。講師は、岡山市立開成小学校校長山内隆彦先生にお願いしました。

今回は、現在学校に広く導入されている実物投影機を取り上げられました。子どもの顔を見ながら教材を提示できる、子どもの作品をそのまま提示できるなどの長所を確かめた後、操作をしながら分かりやすい説明や提示の仕方を探りました。次に、グループ毎に与えられた教材の授業展開を考え、どのように実物投影機の活用を組み込んでいくかを協議しました。その後、各グループが導入部分の模擬授業を行いました。映す部分を限定したり拡大したりするなど実物投影機の特性をうまく生かした操作が多く、授業を受ける子どもの視点に立った計画ができていました。

教育機器を使うことは、教師が資料を提示する上で便利だけでなく、「子どもにとって、どんな提示の仕方がわかりよいのか」を考えることにつながります。子どもがしっかりと参加できるように授業を考えることこそが、「わかる授業」への道です。アンケートには、「効果的な授業がつくれると思った」「具体的に使うイメージができた」などの感想がありました。

【文責：武藤幹夫】

これまでの教師力養成講座の記録DVDを「教育相談室」で見ることができます。積極的に活用してください。



### 教師力養成講座 特別講座テーマ（CST共同企画） 「授業を楽しむためには！ 体験してわかる観察・実験！！」 ～学習指導の苦手意識を克服する～

11月5日（水）に、教職相談室との共同企画として教師力養成講座（特別講座）を開催しました。本講座は、現場での校長経験をもつ理数系教員養成事業部門の平野和司教授（特任）を講師に、参加者が少しでも理科の学習指導の楽しさを味わい、日頃のCSTの活動に関心をもていただくことができると考え、実施したものです。

JSTの調査では、教職経験5年未満の小学校教員の6割以上が理科の学習指導に苦手意識を持っているとされています。経験の少ない若い先生方が不安を持つのは当然です。教職を目指す学生にとっても同じことが言えるでしょう。こういった状況を踏まえ、学生の皆さんに実際に学校で行われている観察、実験を行ってもらい、観察、実験のもつ面白さ、それらを通して指導する楽しさを体験してもらいたいと考えました。学校現場には理科の学習指導が楽しいと感じている先生方もたくさんいます。必要以上に難しく考える必要はありません。

当日は、理科の学習指導についての講義の後、顕微鏡を使っでの観察を行いました。顕微鏡の種類によって見え方がどのように違うのか、児童には観察対象がどのように見えているのか、わずかに工夫された環境の下で自分自身で実際に体験していただくことで、その面白さを児童に味わわせる学習指導の楽しさを想像していただくことができましたと考えています。今後も、学生の皆さんに理科の面白さと、学習指導の楽しさを伝える場を提供していくことができると考えています。【文責：山崎光洋】



### 「早島ボランティアツアー」 実施報告



事の発端は、スクールボランティアビューロー学生スタッフの取り組みの一環として、昨年の夏休みに早島町教育委員会ヘインタビューに森分さん（大学院教育学研究科）と横田さん（教育学部）が出かけた時のことです。教育委員会の先生から「土曜はやまし塾に岡山大学の学生さんにも来てもらえないですか？」

この言葉を聞いた二人は自分たちに何かできないかと、まず学生スタッフに声をかけ、土曜はやしま塾でのボランティア活動に参加してみました。土曜はやしま塾は、早島町学校教育ビジョンで示された新しい取り組みで、小学生や中学生に対する土曜日午前に住民の方や学生による学習支援を行う活動です。この支援の輪を広げたいということで、「早島ボランティアツアー」を10月18日・25日に開催しました。2回で合わせて13名が参加しました。ツアーは貸切バスで全員乗り合わせて行き、車中でお互いの自己紹介などをし、塾で使用する名札を用意したりしました。塾では小学生の担当をそれぞれ持ち、子どもたちと和気藹々とした雰囲気での学習支援活動を行いました。お昼からは「早島トーク」と題して、ボランティア活動やはやしま塾についての熱い議論が繰り広げられました。

ツアーは2回のみの実施でしたが、この輪は現在も広がっており、約20名の学生が各自の都合に合わせて、土曜日にははやしま塾まで電車で通い学習支援に取り組んでいます。これからも輪が広がることを期待しています。【文責：佐藤大介】



## 「母校訪問事後指導」実施

10月に母校訪問の事後指導が実施され、今年度の母校訪問のプログラムを無事終えることができました。母校訪問は母校訪問事後指導まで参加して初めて終えたこととなります。180名程度の学生が母校訪問を終え、その多くが次年度に必修の教職科目である「教職論」を受講することになります。事後指導では、それぞれが持ち帰った学びを相互に出し合い、活発な議論が行われていましたし、当日実施したアンケートを見ても、“充実していた”という回答が多かったように思います。

このような貴重な経験をさせて下さった関係者の皆様にこの場を借りて厚くお礼申し上げますと共に、母校訪問を終えた学生の皆さんの今後のさらなる成長を願っています。 【文責：三島知剛】



## 「合同連携協力会議」の開催 ～岡山県・岡山市教育委員会との一層の連携強化に向けて～

昨年の11月13日、「岡山県・岡山市教育委員会との合同連携協力会議」が本学で開催され、喫緊の教育課題解決に向けて意見交換等が行われました。

まず、昨今の複雑・多様化する教育課題を抱える学校現場で、苦悩している初任者等に対するサポート体制について、今後とも三者で一層連携・協力しながら具体的な取組を進めていくことが確認されました。

次に、スクールボランティア活動の充実・発展に向けWeb化する等、新たなマッチングシステムを構築していくことの必要性が共有され、今後、推進部会等で進めていくことが確認されました。

次に、県教委からの「特別支援教育や生徒指導実践力に係わる教員養成教育の充実」及び「学力調査等の分析・活用」についての依頼事項に対して、本学から現在の取組状況や今後の教員養成の在り方等についての説明がありました。

続いて本学から県教委へ依頼事項である「修士課程進学者の教員候補者名簿への登載期間延長」や「教職大学院現職教員派遣」等の課題について、県教委から現在の実態を踏まえ鋭意取り組んでいる旨の説明がありました。最後に、本年度の重点事業は昨年度に引き続き「教師への道インターンシップ事業」とすることを確認し、閉会となりました。 【文責：山根文男】



## ＜教員採用試験受験記＞ 兵庫県 小学校教諭 合格

合格

教育学部  
学校教育教員養成課程  
小学校教育コース 小山愛未さん

皆さん、教員採用試験に向け奮闘されていることと思います。私も去年のこの時期出遅れながらも、奮闘していました。それもこれも周りの友達からの刺激があったからだと思っています。お互いを高め合う仲

間をぜひ見つけてください。そして、教師になりたいという想い、教師になったらこんなことがしたいという願望を熱く語り合ってください。おのずと試験にむけて準備が整ってくと思います。

また、私は兵庫県の受験ということで、兵庫県についても調べたり、自分の小学生時代を思い返し、県の方針と重ねてみたり

して、兵庫県の教育への理解を深めていきました。「試験に向けて」ではなく「教職にむけて」教師になった自分を想像し、先を見通してぜひ奮闘し続けてください。そして試験ではぜひ、あなたが秘めている熱い想いをぶつけ、夢をつかみとって先へ進んでください！応援しています！！

## 教員採用試験の

ツボ

## その十一「小論文の練習とDVDの視聴」

連載

7月の教員採用試験に向けて今何をしなければいけないのでしょうか。長期的には、筆記試験の勉強と学校支援ボランティアです。この2つは7月の本番まで、根気強く計画的に続ける必要があります。

それに加えて、1月・2月・3月の今の時期にこそ取り組んで欲しいことが2つあります。それは、「小論文練習」と「DVD視聴」です。小論文は8月の2次試験で

課されますが、落ち着いて練習できるのは今の時期しかありません。4月に入ると面接練習や願書の記入などで忙しくなり、教職相談室の予約も次第に取りにくくなってきます。小論文を練習する目的は、小論文が上手に書けるようになるということ以上に、面接で話す内容や目指す教師像を自分の中に創り上げるということです。また、これまでの教師力養成講座のDVDで、現

場で活躍されている先輩の生の声を聞くことにより、教師になって取り組みたいことを見つけたり、自らの意欲を高めたりすることができます。そして、そのことで、小論文や面接の内容を更に充実したものにすることができます。教職相談室の利用しやすい今こそ、小論文の練習とDVDの視聴をしましょう。

【文責：小川潔】

## 教員リレー・エッセイ①「学び続ける教師でありたい」

### 教職コラボレーション部門 江木 英二 教授(特任)

今から40数年前、教育実習に臨み「子どもたちに背中を押され、教職に就いた私」が、自戒の念も込めて『教師としての心得10か条』にまとめ、以来、教育実習生や若手教師に唱え続けてきたものを紹介します。



- ①「教師である以前に、一社会人としての常識・良識を身に付ける。」⇒あいさつ、身なり・服装、言葉遣い、電話の対応。
- ②「仕事の手順を間違えないこと。」⇒最優先は生徒との関わり、次に同僚、最後に個人です。報一連一相が肝心。
- ③「遊びの勧め」⇒生徒と共に遊ぶ余裕を持てば、教室では見えない、見せないその子の真の姿が見えてくる。

- ④「3分前行動の徹底」⇒時間のゆとりが心のゆとりを生む。
- ⑤「準備に過ぎたるは無し。」⇒考えられるすべてのことを想定して準備する。優れた職人は段取りが八分九分とも言う。
- ⑥「生徒から学ぶこと多し。」⇒生徒から慕われ頼りにされる先生、憧れの的になるような先生であり続けよう。
- ⑦「話し上手の前に、聞き上手は伸びる。」⇒経験不足は怖くない。聴いて尋ねて分かってもらう努力が大切。
- ⑧「日々、研修」⇒毎日の小さな積み重ねが大きな力になる。
- ⑨「情報収集が上手にできるか。」⇒アンテナを高く、広く。
- ⑩「教育はチームワーク」⇒常に〇〇学校の看板を背負っていることを自覚して校務遂行すること。情報連携から行動連携へ。バランス感覚も大切です。

☆教職43年目の今、初心を忘れず、謙虚に、学び続ける自分でありたいものです。そこを生徒・学生は観ています。

## 教員リレー・エッセイ②「心・技・体」

### 教師教育開発部門(兼 教職コラボレーション部門) 後藤 大輔 助教

教師教育開発センターで助教を勤めさせていただいております後藤大輔と申します。よろしくお願いたします。私はセンターの業務に携わる一方で、自身の専門であるスポーツ健康科学に関する科目にも関わらせていただいております。中でも専門である体操競技(器械運動)においては、競技者としての経験を活かし、学生さんや子どもたちの指導に取り組んでいます。

さて、競技スポーツにおいて良いパフォーマンスを発揮するには「心・技・体」のバランスが重要であると言われる。16年間の競技歴を終え、指導という立場に立った今、この「心・技・体」は教えるということにおいても、とても重要であると感じています。まず「心」ですが、教師は子どもたちや生徒に対して、学んでもらいたい、成長してもらいたいといった気持ちを持って接することが大切です。当然のことではあるのですが、この情熱を絶やさず常に持ち続けることは、自己の成長にも繋がると考えています。

次に「技」ですが、教師における「技」とは、教える・伝える技術であると考えています。例えば授業ひとつとってみても、学習指導案の組み立て方やタイムスケジュールリング、発問の仕方や板書など、数えきれないほど多くの「技」があります。



そしてそれを支えるための知識も必要です。教職を目指す学生の皆さんは、今まさに大学の講義や実習、学校支援ボランティア等で「技」を磨いているところだと思います。

最後に「体」ですが、これは字の通り身体・体力を表します。子どもたちと長時間触れ合っても、全く動じない健康な身体と体力が必要です。皆さんはこの3つをバランスよく育てているでしょうか。もう一度自分の「心・技・体」を見つめ直し、良い先生を目指して欲しいと思います。

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをご覧ください。

### 教員・講師等募集情報

- 慶進高等学校 非常勤講師募集
- 津田学園 教育職員募集(追加募集)
- 山梨学院大学附属小学校専任教諭等募集
- 出雲西高等学校 常勤講師募集
- クラーク記念国際高等学校常勤教員募集
- 浦和学院高等学校 専任教員等募集

### 岡山市

## 学校支援ボランティアシンポジウム

日にち：平成 **27** 年 **2** 月 **28** 日(土) 9:45~12:30  
場 所：教育学部講義棟5202教室 ※受付9:15~

ボランティア活動に関心のある方ならどなたでも大歓迎!

学校園でのボランティア活動経験が君の未来を変える♪

★詳細は決まり次第センターホームページでお知らせします★

### 岡山県

## 「教師への道」インターンシップシンポジウム (兼「教師への道」研修第7日目)

日にち：平成 **27** 年 **3** 月 **22** 日(日) ※時間は未定  
場 所：岡山大学教育学部講義棟 5202 教室

\*参加対象…県内大学・大学院・短期大学の学生(なら誰でも)  
(特に、次年度大学3年生、短期大学2年生となる学生)

\*内容………学生による実践報告、講演、指導助言等

★詳細は決まり次第センターホームページでお知らせします★